

# 2020(令和2)年10月18日 三島の「鎌足」を訪ねる

梅花女子大 市瀬雅之先生

阿武山古墳→阿為神社御旅所→(西国街道)→耳原公園→大職冠神社→阿為神社



阿武山 ここから上ります(標高281.1m)

険しい山道

## 阿武山古墳

昭和初期 地下から  
古代貴人の埋葬遺体が  
発掘され被葬者は  
鎌足だという説」  
京大地震研究所の裏手



猪が穴を掘った跡も



↑ 視線の先

阿武山から  
徒歩やバスで  
阿為神社御旅所へ



御旅所前の  
西国街道を歩く



耳原公園へ



阿為神社御旅所(阿為神社の南方約1.5km)



1571年白井河原合戦跡 (耳原公園横)  
茨木川に架かる幣久良橋(後奥)



## 耳原公園

白髭大明神(稲荷神社跡)の石碑、大正11年4月健之)  
この一角の幣久良山に幣久良神社があった。  
安威の阿為神社へ合祀



大織冠神社

鎌足の古廟、  
將軍塚古墳と  
言われていますが  
石室の構造から  
6世紀中頃のもので  
鎌足の時代よりは  
1世紀ほど古い  
ようです。



円墳で、南側に開口部がある横穴式石室

將軍山古墳2号墳 山頂の鎌足塚のすぐ横  
もとは鎌足塚の南側の山頂にあった  
前方後円墳 全長107m、後円部径70m、  
前方部端の幅44m  
宅地造成の為、現地に移し復元した  
將軍塚より古い  
古墳時代前期(4世紀後半)



竪穴式石室12枚の天井石  
全長6.4m、幅1m、高さ0.8mの石室



綺麗に石が積まれている  
U字型の粘土棺床



將軍山1号墳が鎌足の將軍塚古墳とされている

大織冠鎌足公古廟

伝統様式の古い民家が残る  
安威の街並みで



「右 鎌足公古廟」道標

安威城跡碑  
室町時代の領主安威氏  
の城(居館)があった



参道入口 一の鳥居 東向き



目が顔の上方で、  
左右の目の間隔が小さく  
愛嬌ある顔の狛犬。

## 阿為神社

安威は藤原鎌足ゆかりの地。毎年11月の「新嘗祭」のうちに阿為神社蹴鞠の会が境内で蹴鞠を奉納 2020年は中止  
末社  
出雲社、鹿島社、市杵島姫・稲那・金山合祀社・秋葉社・八幡社大年社・菅原社  
・朱の鳥居が林立する稲荷社ここに  
明治41年(1908年)明治の神社合祀により  
幣久良山の式内社幣久良神社を合祀か。



二の鳥居 南向き 境内入口階段  
(一の鳥居から道を西へ)



拝殿は瓦葺・平入入母屋造りに千鳥破風と軒唐破風